

令和元年度 西小学校英語科特例校の実施状況について

大泉町立西小学校

1 英語科特例校の内容

小学校全学年において、「英語科」を実施する。

近年、国際化・グローバル化が進んでおり、今後その流れはますます大きくなることが予想される。令和2年度からの新学習指導要領では、3・4年生で「外国語活動」、5・6年生で「外国語科」が新設され、外国語教育の一層の充実を図ることとなっている。そこで、令和元年度において、特別の教育課程を実施し、早期から英語の学習を始めて英語教育の充実を目指していく。

2 児童アンケートの結果

<質問項目>

①英語の時間は、楽しいですか？	95%
②英語の時間では、先生や友達とすすんで英語で話していますか？	92%

(数値は肯定的な回答の合計割合)

<自由記述>

- ・学校探検が面白かった。
- ・形の言い方、野菜、自己紹介が楽しかった。
- ・カード交換が楽しい。
- ・道案内、出川 English、お店屋さんごっこ、warm up に楽しく参加できた。

3 保護者アンケートの結果

<質問項目>

①小学校1年生から、英語の授業を実施することは、英語への関心を高めることに役立っていると思いますか？	94%
②お子さんは、英語の授業を楽しみにしていると思いますか？	90%

(数値は肯定的な回答の合計割合)

<自由記述>

- ・小1から英語を始めることによって、耳から英語を学ぶようになっているので大変良いと思う。
- ・英語に対し苦手意識をもたないように工夫して授業を行っていると思う。
- ・英語は大切な教科だから早い時期から学ぶことで親しみやすさがあると思う。

4 教職員アンケートの結果

<質問項目>

①小学校1年生から、英語の授業を実施することは、英語への関心を高めることに役立っていると思いますか？	100%
②児童は、英語の授業を楽しみにしていると思いますか？	100%

(数値は肯定的な回答の合計割合)

<自由記述>

- ・外国籍の児童が多いので、他者理解や異文化理解のためのツールに英語がなっていると思う。
- ・工夫された活動を通して、英語に触れたり慣れたりすることはいいことだと思う。

5 成果と課題

<成果>

- ・6年間で学習する内容の見通しを持ち、既習事項を生かしながら指導することで、抵抗なく授業に取り組める。
- ・英語によるあいさつなどの会話が自然とできるようになっている。
- ・休み時間や英語の時間以外でも英語を使っている児童が増えた様子が感じられる。

<課題>

- ・学年間の系統性を踏まえ、発達段階に配慮した適切な年間指導計画を作成する必要がある。

6 学校関係者（学校評議員）の評価結果

- ・担任、JTE（日本人英語担当講師）、ALT（外国語指導助手）の3人が楽しい雰囲気作りを行っていて、普段おとなしそうな児童も含め、のびのびと楽しそうに取り組んでいたことが素晴らしい。
- ・3人の指導者がいると、分担して会話練習に取り組めるのでよい体制だと感じた。
- ・小学校低学年から、楽しみながら英語に触れさせることはとてもよいことだと思う。
- ・机を取り払うなど、もっと「勉強らしくない環境づくり」をするのもよいのではないか。